



〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5 階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



3月13日(木)第4回 検数労連25春闘交渉 15:30~16:00

25春闘は大幅賃上げによる全体の底上げを！

次回交渉(労組有額回答指定日)に向け、組合要求に沿った回答構築を求める！

【第4回交渉】

3月13日(木)第4回 検数労連25春闘交渉を開催し、組合は両協会に対し25春闘における賃金引上げ回答に対する考え方の披露を求め、交渉をおこないました。

《全日検》

2025年度の予算会議が終了したところで、現在は詳細部分の修正を行っている最中である。そのようななか、25春闘における賃金引上げと産別課題の履行などを精査しているところである。

回答の方式については従来の方法を踏襲するよう考えているところであるが、組合からの主張も考慮した中で総合的に精査していく考えである。

《日検協会》

現在、24年度の損益見込みを踏まえて、25年度の計画を審議している最中である。

現時点で言えることとして、各支部での増収対策の効果がでており、昨年比プラスで推移しているが、仮に料金改定が無かったことを考えた場合、厳しい状況下になっていたと思うと昨年比プラスでも樂觀視できる状況ではないと言える。

回答に対する考え方については、様々な角度から検討を重ねたうえで、労組主張に答えられるよう努力していきたい。



《組合主張》

組合は両協会から賃金引上げに対する考え方を聞いたうえで、組合は次の通り主張し、次回交渉での有額回答の提示を求めました。

3月12日の『25春闘集 中回答指定日』では、大手企業を中心に満額回答が出されるなど、25春闘は軒並み高水準で推移している。

このような状況下で、両協会においても従業員の生活防衛や離職対策を考えるならば、組合主張に沿った回答を提示すべきである。次回交渉では両協会の主体性での有額回答の提示を強く求める。

25春闘で大企業は将来を見据えて賃上げ回答をおこなっているが、中小企業も経営状況に関わらず大企業に追従していかなければ人材は確保できない。そういった意味では両協会も25春闘では組合要求に沿った回答を出さざるを得ない状況にあると言える。

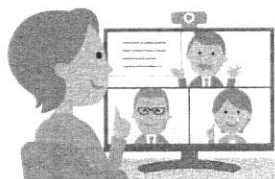
諸物価高騰の影響は年齢関係なくすべての者が同じように負担を被っている。そういう意味では、25春闘の賃上げ回答での年齢格差は撤廃し、一律回答による全体の底上げ回答をすべきと考える。

先日開催した検数労連幹部学習交流会や、これまで開催した25春闘オルグのなか

25 港湾春闘勝利総決起集会(リモート)開催のお知らせ

全国港湾と港運同盟は、3月4日開催の第一回合同中央闘争委員会において、大幅賃上げ獲得・産別制度要求実現に向けての取り組み強化方針を検討しました。

3月11日に開催した第二回中央港湾同交での日港協



の回答が不誠実であると主張した組合は日港協に対し『行動の自由の留保』を通告しました。合同中央闘争委員会では、職場・地区での理解を深め、産別への団結を固める場が必要との考えのもと3月17日(月)17時30分『25港湾春闘勝利総決起集会(リモート)』を開催することを決定しました。

リモート視聴のパスワード等の詳細については、各地域闘争委員会の方に問い合わせ願います。

で参加した組合員から様々な声を聞いた。参加した組合員からは、諸物価高騰による生活苦や、人員不足の中で繁忙を余儀なくされている職場状況。25春闘に対する期待などが多く出されている。両協会ともに従業員の期待や労苦に報いるべく、組合要求に沿った有額回答を強く求める。



次回交渉 3月27日(木) 09:30~
第5回 検数労連25春闘交渉(有額回答指定日)
労組指定の有額回答指定日につき、各地域闘争委員会および組合員は次回交渉に要注目！

